

5

東北の本棚

河北新報

昭和十四年六月二十四日



硝煙の海—青春の航跡
十万里

菊池 金雄 著

八十二歳になる著者（仙台市）は戦前、海外航路の貨物船に乗り込んでいた元

戦後も国内航路を中心に

通信士。現役時代の数々の航海を回想しており、船舶が輸送の主役だった時代の雰囲気がしのばれる内容となっている。

一九四〇年代に北米航路で訪れたサンフランシスコでは、物があふれる豊かな町を目の当たりにして驚く様子が、印象的に描かれている。第二次世界大戦では一転して、南方へ向けた軍需物資を運ぶ輸送船での任務に当たった。危険な海域を行き来させた日々を克明に記している。

多くの貨物船で通信業務に携わった。戦前戦後を通じて航海をともした船乗りたちの人間味豊かな姿も紹介されている。

著者の自宅は、仙台市宮城野区宮城野二ノ九ノ一二
〇〇二二（2093）0234。